



株式会社アステック入江
祝 創業114周年式典



【会社方針】人づくりの推進

NEXT STAGE
established in 1910

多言有用

入社して45年が経過。その間、公私共々色々と挑戦してきた。その過程は坂道がほとんどで、急な坂道ばかりだったと記憶。やっとの思いで登り詰める。その先には下り坂どころか、次の坂道が目の前に現れる。「人生楽ありや苦もあるさ」という、唄の一節ではないが、目の前には上り坂ばかりで、自分の目標を達成するまで、坂道は続くのだろう。それは自分を鍛えるための、経験させられるためのもので、「有難い」と感謝しなければ。「上山又山」この言葉の出典は不明だが、「一つの山を登れば、彼方にまた山が控えている。それをまた登ろうとするとまた山、力尽きるまで。」「死ぬまで挑戦、進歩することが人生であると教えてくれているような気がする。人生百年時代と言われてそう長くはないが、禅語で「磨穿鉄硯(ませんてつげん)」という言葉があり、鉄の硯に穴が開いてしまうほど、学問をすること、強い意志を持って学ぶこと。また、破草鞋(はそうあい)という言葉もある。破れた草履という意味で、自分の草履が破れて裸足になっている事すら気付かないくらい努力・前進しなさいという意味である。昔から神が人間に試練を与えたのは、ある程度の支障や障害(＝坂道)があった方が人間はかえって真剣になり、持って生まれた資質が如何に立派であっても、逆境という試練を経験することが、人間性を鍛えていくというもの。坂道を登り続けて、その先に見える素晴らしい景色を愉しみに、これからも人間力を高めていきたいものである。

(K・A)

内部通報制度(コンプライアンス相談窓口)について

当社では、法令遵守と風通しの良い職場作りを通じた健全な企業活動の推進を目的に、コンプライアンス違反に関する相談や疑問点についての相談窓口を社内外に設けて対応しています。

Q. 誰が相談対象者?

当社の役員及び社員、派遣社員等(呼称のいかんを問わず当社で就業している者。請負契約先社員も含む)が対象です。

Q. 相談受付事項は?

- ①法令違反、公益を犯すような行為
- ②社内のルール違反
- ③その他コンプライアンス違反に関すると思われる事項

※うわさを含む曖昧な事柄を事実として断言することや、個人的な利益を図る目的や他人の誹謗中傷、私怨を目的として行うことは禁止です。

Q. 情報は守られる?

公益通報者保護法の趣旨に則って相談者の保護を図り、相談者の氏名、相談内容等については極秘扱いとし、コンプライアンス委員長他関係者以外には開示致しません。

【社内相談窓口(事務局)】

専用電話：093-661-5353
E-MAIL：comp@astec-irie.co.jp
書面郵送：〒805-8507 北九州市八幡東区西本町3-1-1
株式会社アステック入江 コンプライアンス事務局宛

【社内相談窓口(各事業部門)】

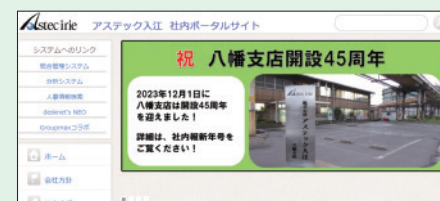
各事業部の総務担当部署より各事業部門が任命した者

【社外相談窓口】

電話：093-571-0220(中野敬一弁護士)または093-592-1201(中野昌治弁護士)
FAX：093-592-1203
書面郵送：〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番3号
大手町アイビースクエア2F 大手町法律事務所
上記どちらかの弁護士
※社外相談窓口への相談は原則、実名でお願いします。(調査結果報告のため)

社内報&社内ポータルスライダー 掲載トピック募集!

各部門や各部署からの情報伝達に、社内報や社内ポータルのスライダーをご活用ください。(お問い合わせは総務部・総務グループまで)



八幡支店 人材採用PRムービー

ぜひご覧ください!



ウ インタースポーツの代表といえはスキー。スキーは私の趣味の一つであり、シーズンになると週に一回ペースでスキー場に通います。しかし今年の冬は特に暖かく、西日本のスキー場では雪不足に悩まされているようです。冬の間は寒波の到来・大雪を待ちわび、常に天気予報とゲレンデ状況をチェックしています。また、季節や自然を利用したスポーツ等をこれから先の未来で続けていくためにも、環境問題や温暖化と向き合っていく必要があると改めて感じました。(本社 平田)

最 近まともな釣果が上がっていません。昨年は、年明け早々にシーバスを釣ることができ、いいスタートを切ることができたのですが、それが降参うように釣れず、改めて魚釣りの難しさを感じさせられた1年でした。さらに、釣りたいと思えば思うほど釣れてはくれず、やはり魚に殺気が伝わるのでしょうか(言い訳になります)。今年も、欲を出さず腕を磨くとともに北九州近辺の釣り場探しを行い、スランプからの脱却を目指そうと思います。(本社 田口)

社員近思録

記念式典



PCB事業部・吉松さんが代表謝辞を読み上げました



式典スタート



受賞者一人ひとりに賞状が授与されました



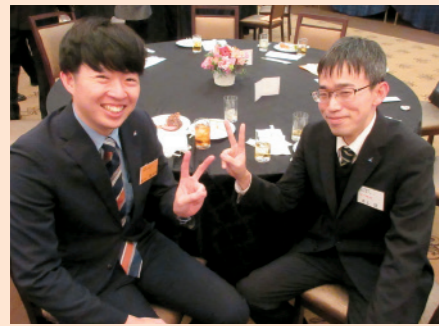
受賞者の皆さん



創業114周年記念式典開催

2月2日(金)、アートホテル小倉ニュータガワにて創業114周年記念式典が行われました。2年ぶりの開催となった当式典には、各事業所から受賞者など約80名が参加。入江社長から受賞者一人ひとりへの言葉とともに表彰状が手渡されました。このページでは、一部ではありますが式典の様子をお届けいたします。

祝賀会



久々にコロナ前の形式で行われた祝賀会は大盛り上がりでした！

一人ひとりの力を結集し全員の力で、新たなステージへ踏み出そう！

創業114周年記念 社長あいさつ



代表取締役社長 入江 伸一郎

見渡しますと、電気自動車や再生可能エネルギー等、新時代に向けた産業構造の転換期を迎えています。また、現場の操業に直接影響する労働力不足問題には早期に対応しなければなりません。このような経営環境において、私たちは新生アステック入江として課題に向き合い、未来に向かって果敢に挑戦し続けます。

71中期における方針

- (1) 少子高齢化が進むなかでの、安全・安定操業に向けた労働力の確保とDXの推進による生産性向上
- (2) カーボンニュートラル社会の実現に向けた操業・設備対策において、お客様への全面的な協力を継続
- (3) FM事業における販路拡大に向けた新規顧客の開拓、海外展開も視野にいたる都市鉱山設備の拡販
- (4) 今後拡大が期待される半導体産業において、未来をけん引する成長分野への参入に挑戦
- (5) 新規分野への進出を可能にする技術開発の推進

今年度は68中期の最終年度であり、68中期経営計画を完遂するとともに、71中期経営計画策定に取り組みます。71中期では以下の方針のもと、財務体質の改善を行い、未来へ向けた積極的な投資を計画しています。

これからも私たちは、社是「信頼」の下、仲間意識を高め、一人ひとりの「力」を結集して、企業価値の向上に取り組む「NEXT STAGE」を目指します。

私は皆様の先頭に立ち、社業のさらなる発展に向け、社員の皆様とともに誠意取り組みますので、どうぞよろしくご協力致します。ご安全に！

2024年2月2日 株式会社アステック入江 代表取締役社長 入江 伸一郎

NEXT STAGE established in 1910



次の100年に向け決意を述べる入江社長

第63回 IJK活動全社発表大会

日頃の自主管理活動の成果を発表

2023年11月28日(火)、第63回目となる「IJK活動全社発表大会」が本社で開催され、各部門の代表グループが日ごろの成果を発表しました。

2023年11月28日(火)、第63回IJK活動全社発表大会が開催されました。

昨年は新型コロナウイルスの影響でリモートでの開催でしたが、今年は本社での開催となり、参加者全員が一堂に会して実施することができました。

発表は八幡支店「ダンプ荷台上架作業の改善」、大分支店「30t台車線湧水対策工事後の維持管理」、光支店「NO1・2ブースリフトエリア安全対策」、F事業部「銅粉最適乾燥方法確立による品位安定化」、PCB事業部「1、2系環境設定時のヒューマンエラー防止」の順に行われ、講評を行った秦技術統括部長は、「改善活動は現場のみならず、本社や事務所での業務や日常生活の中にあり、その積み重ねが大切です」とお話しされ、我々スタッフも日々の業務内容を見直し、改善を重ねていくことが必要だと改めて感じました。続いて行われた表彰式では、入江社長より発表者一人ひとりに感謝と労いの言葉がかけられました。

また、大会終了後は、第60回大会以降中止していた懇親会を開催しました。平嶋副社長による挨拶、水城取締役による乾杯のご発声で懇談が和やかな雰囲気のもと始まりました。最後は、山田安全環境防災部長による万歳三唱で締めくくられました。

私にとって今大会は、初めて主催者側での参加となりましたが、発表グループの皆さま、運営にご協力いただいた各支店事業部の皆さまのお力添えにより思い出に残る大会になりました。誠にありがとうございました。

(大嶋)



秦技術統括部長による講評



平嶋副社長による挨拶



社長から労いの言葉をかけられました



発表の様子



発表の様子



記念撮影



入江社長と発表者の皆さん

本社 年末年始ゼロ災害活動 完全無災害に向けて

12月1日から2か月間、年末年始ゼロ災害活動に取り組みました。主な活動内容は次の通りです。

年末年始対話活動

12月6日(水)の大部分支店を皮切りに全8カ所対話活動を行いました。今回は「風通しの良い職場づくり」の一環として取り組み、本社各部長も巡視メンバーに加わりました。いずれの事業所においても、災害防止に向けた様々な創意工夫や取り組みがなされていたほか、挨拶が元氣よく行われており活気にあふれていました。

2024年全社新年安全誓願祭

1月30日(火)、全社新年安全誓願祭を豊山八幡神社で斎行しました。祭り主人江社長は全従業員の安寧と事業の充実を祈願し玉串を捧げられ、続いて山地全社総括安全衛生管理者、箇所代表者、三島労働組合長がそれぞれ玉串を捧げられました。最後に山地全社総括が「安全」「健康」への取り組みについて話したあと、吉野八幡支店長のバッチリ唱和で終了しました。

(永井)



対話活動 光支店での意見交換



吉野支店長によるバッチリ唱和

光支店 防寒DAY 温かい飲み物で寒さに打ち勝つ!

光支店では夏季の納涼DAYに続き、年末年始ゼロ災害活動の一環として12月18日～1月22日の毎週月曜日に防寒DAYを実施しました。

内容は、11時と14時に現場の皆さんに事務所1階休憩所で温かい飲み物(生姜湯、飴湯、コーンスープなど)を振る舞うというものです。今年も暖冬で、「防寒DAY」期間中も天気に恵まれる日が多かったのですが紙コップ片手に会話に花が咲き、現場の皆さんの英気を養う場となったようです。温まった体と心で元氣よく現場作業に行かれています。また、甲番の休憩時間に事務所に立ち寄れない方には、袋入りのインスタントスープを配布して現場詰所で飲んでいただくなど、皆さんで活動を推進できるように工夫しました。今後、現場の皆さんとの対話の機会が増えるような企画を考えていきたいと思えます。

(黒田)



温かい飲み物でパワー全開

本社 役員コンプライアンス研修 パワーハラスメントの防止

11月29日(水)、役員・部門長に対するコンプライアンス研修を実施しました。外部講師として弁護士法人・大手町法律事務所の木下弁護士をお招きし、「パワーハラスメントについて」というテーマで研修を実施していただきました。

研修では、「パワーハラに該当するかどうか」の事例検討や、指導にあたっての注意点の紹介、会社全体でのパワーハラ予防についての解説がなされました。参加者の皆さんは会社や各部門の運営の舵をとる立場にあることからパワーハラ防止への関心が高く、木下弁護士のお話を熱心に聞いていました。当社は今後も、すべての役員および社員に対し継続的に研修を実施し、コンプライアンス遵守に努めてまいります。

(坂口)



事例検討をする参加者の皆さん

本社 入江社長 東京大学岡部先生を訪問 リサイクル分野の第一人者と情報交換

1月18日(木)、入江社長が東京大学生産技術研究所長・岡部徹先生を表敬訪問しました。岡部先生は、チャンをはじめとするレアメタルの製錬やリサイクル分野の第一人者で、昨年は紫綬褒章を受章されました。

当社と岡部先生とのご縁は、2019年に当社の都市鉱山リサイクルセンター響工場を先生にご見学いただいたことに始まります。その後、2022年に改めてご来福いただいた際には、都市鉱山リサイクルプロセスを高く評価下さいました。また近年では、先生の主催するレアメタル研究会への参加など、貴重な交流の機会をいただいております。

今回訪問させて頂いた生産技術研究所は、日本で最大規模の大学付属研究所です。当日は先生自ら、最先端分野の研究施設をご案内くださり、見学の後は、レアメタルリサイクルの現状についても情報交換させて頂いた。大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。海外へ都市鉱山リサイクルを展開していくために、今後先生にご助言をいただきながら、推進していきます。

(岡山)



東京大学・岡部先生(右)と入江社長

本社 西日本シティ銀行様 響工場見学 一層のご理解深まる

12月21日(木)、西日本シティ銀行より副頭取の竹尾様、北九州総本部長の吉野様他2名にご来社いただき、FM事業部都市鉱山リサイクルセンターおよびセラミックス事業所響工場の工場見学を実施いたしました。はじめに、FM事業部の塩化鉄液リサイクル事業、都市鉱山リサイクル事業についての概要説明を行った後、金や銅の回収実験、アステックシステムによる電子部品の自動選別、セラミックスの加工現場をご覧いただきました。

このたびの工場見学で、西日本シティ銀行の皆さまより、積極的にご質問をいただくなど活発な意見交換が行われたことで、鉄事業で100年以上にわたり培ってきた技術とノウハウから生まれた弊社の環境リサイクル事業に、一層のご理解とご期待をいただけたように感じています。今後も西日本シティ銀行様のご支援をいただきながら、さらなる会社の発展に努めてまいります。

(野畑)



西日本シティ銀行の皆様との集合写真

PCB事業部 KEPS安全標語 下園光さん 最優秀賞受賞

ご安全に!1月5日(金)に北九州環境プラントサービス(株)様より「2024年上期安全標語 最優秀賞」を頂きました。受賞標語は

「先人の安全意識を引き継いで 過去も未来も安全作業 皆が笑顔で処理完遂」です。

この標語は「先人(諸先輩方)の功績や苦労があったからこそ、私達が安全作業を行えるのだ!」という感謝の念と、皆で一丸となりPCB処理完遂を目指す!という想いを込めて作成しました。

2024年度初頭から能登半島地震の発生や鳥町食堂街大火災といった悲しいニュースが続き気持ちが落ち込んでいましたが、最優秀賞を頂いた事で「今自分に出来ることを精一杯行い、今後も安全最優先で作業しよう!」という想いが一層強くなりました。

(下園)



KEPS 楠社長(右)より表彰されました

九州トップクラブリーグでの様子



昨年のリベンジを果たし栄光を掴みました

私が所属する大分クラブは、2023年9月に開幕した九州トップクラブリーグを順調に勝ち進み、12月10日(日)に決勝戦に臨みました。対戦相手は昨年の決勝戦で敗れた福岡かぶと虫クラブでした。試合は一進一退の攻防でどちらが勝つか分からない手に汗握る展開となりましたが、最後までチームの一体感が強かった大分クラブが

全国大会初戦 (1月21日 黒崎播磨陸上競技場)



惜しくも敗退しましたが、全力プレーで場内を沸かせました

32-22で勝利し、昨年の雪辱を果たして優勝し、2年連続で全国大会への出場権を獲得しました。試合では江口と前原(ともに大分支店設備課)がスタメンとして出場し、力強いスクラムや低く刺さる激しいタックルなど、終始気迫のこもったプレーでチームの勝利に貢献することができました。これからも日頃から支えてくださる会社の方々に感謝して、仕事とラグビーどちらも飛躍できるよう頑張りたいと思います。

(前原)



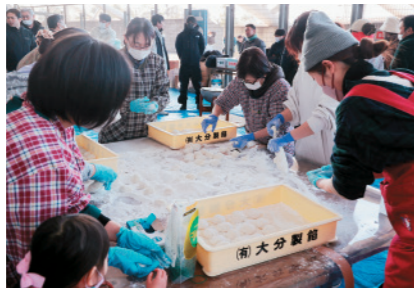
あいさつする安田支店長



1月13日(土)に「第11回新春家族安餅つき大会」が開催されました。昨年に引き続き開催することができ、前回大会に負けない盛り上がりにするため準備を進めました。当日は、総勢242名の社員・ご家族・協力会社の方々に参加していただきました。安田取締役支店長の開催挨拶、支店幹部紹介ののち社員総出での餅つき大会が始まりました。少し肌寒い日ではありましたが、皆でついた餅や豚汁、ぜんざいを食べて体を温めることが出来ました。



餅つき開始!



ついた餅は地道に丸めていきます



Yogibo ゲット!!



子どもたちもペタンペタン

「自分たちでついた餅は格別だ!」という声がたくさん上がり大盛況でした。最後はお楽しみみの抽選会。今年の注目景品はToshiba(ヨギボ)! 見事獲得したのは、利材係赤星係長のご家族の方でした。その他にも家計に優しい景品も多々あり、終始笑顔の絶えない餅つき大会となりました。来年も無事に開催できるよう、通退勤から気を引き締めて「安全」に取り組んで参ります。

(小山)

大分支店 2人のラグビー選手 雪辱果たして全国出場!

大分支店 新春家族安全餅つき大会 お餅と景品で大盛り上がり!

営業統括部 東京サテライトオフィス開設 新規開拓に向けて新たな拠点

2023年12月1日より、東京サテライトオフィスを開設いたしました。当社の主要取引先の多くは東京に本社があり、取引先への訪問頻度の向上と迅速な対応や、営業活動の効率化を図ることに加え、官公庁や関東周辺の企業への新規開拓営業も行うことで、売上の拡大を狙います。東京サテライトオフィスは、品川駅から徒歩1分場所にあります。同駅から羽田空港まではアクセスが良く、新幹線も停車するターミナル駅で、非常に利便性に優れています。その利便性を今後の営業活動に生かして参りたいと思います。

(小森)



営業統括部 東京サテライトオフィス 〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー7階 740号室 TEL:03-6894-4223

八幡支店 戸畑工業高校インターンシップ受入 充実した2週間

2023年12月6日(水)〜12月15日(金)の約2週間、福岡県立戸畑工業高校 機械科2年生の生徒1名を八幡支店で受け入れ、インターンシップを実施しました。前半は各職場の見学・説明を行い、現場の雰囲気を感じてもらいました。様々な機械設備のスケールの大きさが印象的だったそうで、案内者の説明を熱心に聞き入っていました。後半は、学校でも習っているという溶接作業を中心に、金物製作を体験してもらいました。初めは苦戦していた様子でしたが段々と上達し、班長からお褒めの言葉をもらうなど心底楽しそうに作業していました。あつという間の期間でしたが、今回の経験が本人の進路選択の一助となれば幸いですし、当校との採用関係強化に繋がればと思います。

(古川)



熱心に溶断作業に取り組む生徒

本社 日本製鉄九州八幡ラグビー部 2023シーズンを終える

トップキュウシュウリーグを2位で終えた日本製鉄九州八幡ラグビー部は、12月24日に全国大会である3地域リーグの1回戦(会場・埼玉県狭山市)に進出しました。当日は、12月の寒空を押しやるような晴天の中、今シーズン関東トップイーストリーグ2位となったセコムラグッツとの対戦に挑みました。試合は、前半2分にはいきなりトライを奪われ、流れを掴んだラグッツに主導権を握られた試合運びとなりましたが、今年からリーグワン参入が決まっている強豪相手に2トライを奪うなど見せ場十分の試合となりました。大嶋選手(本社)は後半途中から出場し、攻守にわたり力強いプレーを見せてくれました。2023年度の活動はこの試合で終了となりましたが、来年度も再びこの大舞台である3地域リーグを目指して頑張ってほしいです。来年度も日本製鉄八幡ラグビー部と大嶋選手の応援をよろしく願います。

(真鍋)

大嶋選手コメント
今年度は多くのご声援ありがとうございました。目標のリーグ優勝はできませんでしたが、3地域リーグに出場することができました。来シーズンこそリーグ優勝しますので応援よろしくお願います!!